

コロナ禍を乗り越え、校友会和歌山県支部が発足しました。



塚本学院校友会
和歌山県支部 支部長
久保 哲朗

令和6年6月の本部定例会にて、会員数52名で承認され、いよいよ活動開始の運びとなり、役員が選任されました。支部長に選任された「久保哲朗」ですが、昭和45年、大阪芸術大学グラフィックデザイン卒の現在75歳。私が入学した年で1回生から4回生まで揃った年で、喜志駅からスクールバスで通学したのが楽しく思い出されます。卒業後、広告代理店「大広」にてデザインからイベントまで幅広く仕事をさせて頂き、いい時代を過ごさせて頂きました。

今後の校友会県支部活動は、和歌山県から2,700名強の卒業生が出ておられます。和歌山市から新宮市まで南北に200キロの広範囲の県。個々のネットワークを生かしながら、新会員を募り規模の拡大を図りながら、地域社会により貢献出来る組織づくりに取組みたいと考えています。今後とも皆さんのご指導ご協力をよろしくお願いいたします。



塚本学院校友会和歌山県支部役員名

支部長	久保 哲朗	S45 年卒	芸大デザイン
副支部長	中村 勝己	S48 年卒	芸大デザイン
副支部長	小林 正勝	S38 年卒	短大デザイン
書記	芝滝 順子	H12 年卒	芸大演奏学科
理事	橋爪 伴之	S57 年卒	芸大演奏学科
理事	東陰地正喜	H12 年卒	美専映像専攻
オブザーバー	武友 朋子	S37 年卒	短大デザイン
オブザーバー	原 久雄	S46 年卒	芸大インテリア
事務局	菊地 稔美	S47 年卒	短大英米文化
相談役	田村 昭彦	S38 年卒	短大デザイン

左から、芝滝、橋爪、小林、久保、中村、菊地、原
(撮影：堀田賢治)



たしま かつまさ
申本町長 田嶋 勝正
芸大 環境デザイン卒

大阪芸術大学の校友会和歌山県支部が、この度発足されましたこと心からお祝いを申し上げます。

早いもので私が大阪芸大を卒業して半世紀近くが経ちました。

入学当初は、大学近くの今はなき「からたち寮」で一年間を過ごしました。良き先輩、良き同期と共に、毎晩、河島英五の「酒と泪と男と女」を歌いながら酒を飲み明かしたことを、ふとした時に思い出します。因みに、当時の先輩や同期生とは今でもお酒を飲む機会があり、懐かしき昭和時代を語り合っています。

時々、テレビ和歌山で「大阪芸大テレビ」を拝見しますが、すっかり様変わりした学生・各施設を見るにつけ、大阪芸術大学がクリエイティブな芸術家を益々生み出していく予感がします。

今、私は申本町長を務めています。町内に完成した射場から、本年12月にロケットが打ち上がる予定です。お時間がありましたら、ぜひ申本町にお越しください。

和歌山県支部への入会・お問合わせ先

入学時に校友会の会費を納めているので、和歌山県支部への入会金・会費等の徴収は有りません。入会ご希望の方は、事務局までメールで、お名前(旧姓)・ご住所・〒・携帯電話・卒業校名・専攻学科・卒業年度と入会希望と送ってください。

和歌山県支部事務局 菊地稔美 / 携帯：090-3493-7039 / Mail：toshimitnc1951@gmail.com

和歌山県支部で活動や活躍されているメンバーの皆さま



演奏学科
橋爪 伴之 教授 (S57年卒)
和歌山県海南市出身



毎年恒例の橋爪門下生合宿は、紀美野町で行われています。響きが自慢、クラシック専用ホールである紀美野町文化センター「みさとホール」に、今年も美しい金管楽器の煌びやかな音色が響き渡りました。この日は和歌山支部メンバーが集い学生を激励、うれしい第1回の会合となりました。ホール練習を終え、高野山麓の宿「かじか荘」へ。川遊びにバーベキュー、星空観察・・・ここ和歌山では、大自然の中で演奏技術以外にもたくさんのものを得ることができます。



みさとホールでは、2023年2月に大阪芸術大学演奏学科教授陣とウインドオーケストラのコンサートが行われました。満席のお客様をお迎えし大変な盛り上がりを見せ、和歌山の皆さまに大阪芸術大学のパワーをお届けできた素晴らしい1日となりました。

出演：三原剛教授（演奏学科長）、仲道祐子教授、伊勢敏之教授、橋爪伴之教授、大阪芸術大学ウインドオーケストラ、卒業生も参加

大阪芸術大学 名誉教授 持田総章 主幹のグループ Cu¹⁰⁺¹展が毎年8月に開催!



銅版画と絵画の作品展を和歌山県民文化会館特設会場にてR6年8月に開催されました。会員18名中、大阪芸大、短大、美専の卒業生が5名含まれています。会期最終日に、神戸から90歳になられた持田先生が来られ、出品39作品を1点ずつ講評されていました。

和歌山には塚本学院白浜研修センターもございます。全国の皆さま、ぜひ魅力満載の和歌山へお出かけください。